

生涯学習係『学校支援センターの機能の充実に向けて』～学校支援センター地区別推進会議より～

利根沼田管内の学校支援センターの機能の一層の充実を図るため、学校関係者代表(校長協議会長)や地域の代表(地域コーディネーター、支援ボランティア、団体等)及び市町村教育委員会担当者に参加していただき、学校支援センター地区別推進会議を年2回行っています。今回は1月に行われた会議の内容をお伝えします。

学校訪問から・・・学校支援センターの機能が充実している学校が増えています!



事前打合せで、先生方と支援ボランティアの方が活動のねらいや本時の目標を共有し、役割分担、支援の内容等を明確にすることにより、授業が効果的に行われている様子が分かりました。

各学校が「学校支援センターに関するチェックシート」等で自校の課題を明らかにしたことにより、課題の解決に向けた体制づくりや、一層の機能の充実に向けた取組が多く見られました。



社会教育主事

それぞれの立場から・・・学校・家庭・地域の連携、協力が一層進んでいます!

校長先生



ふるさと学習をはじめ、その他にも、あらゆる場面で地域の方に協力していただいています。たくさんの方と関わる中で、子どもたちには社会性が育っていくと思います。

支援ボランティア



子どもたちの喜ぶ笑顔を見ると達成感があります。先生方と話す機会も増え、学校とのつながりが強まっています。

学校の依頼を受けて、支援ボランティアや地域の方に声をかけ協力してもらっています。学校からの依頼や相談をもっと受けたいです。



スキー教室に協力しました。これからも様々な学校行事に協力していきたいです。



PTA代表

地域コーディネーター

老人クラブ代表



地域の各小中学校に、体験活動や郷土料理、地域文化の学習等で協力しています。先生方が忙しい中、活動の計画を立ててくれるので協力しやすいです。

事務局として学校と地域をつないでいます。幼小中の教育活動に関係する方が共通理解を図るための会議を行っています。学校、地域、行政の連携を心がけています。



教育委員会担当者

今後に向けて・・・支援ボランティアの意見を聞く機会を設け、活動の質的向上を図りましょう!

平成27年度へ向けて、子どもたちの教育活動を充実させるために、活動の終了後、効果的な支援であったかどうかを支援ボランティアの方も交えて話し合うことの重要性や振り返り用紙の活用について確認されました。